

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和6年2月7日(水) 13:30～15:30
- 3 開催場所 恵那高等学校 会議室  
開催にあたり授業参観を実施した
- 4 参加者

会 長	伊藤 勝彦	恵那市議会議員 元恵那東中学校長
副 会 長	鎌田 基予子	元恵那市教育委員 本校100周年記念事業副実行委員長
委 員	秋山 浩司	東海神栄電子工業代表取締役社長 (欠席)
	阿部 伸一郎	本校同窓会長 セントラル建設(株)社長
	新井 麻美	恵那くらしビジネスサポートセンター
	岡田 庄二	恵那市教育長 (欠席)
	西尾 英憲	恵那市立恵那東中学校長
	西山 陽祐	P T A会長
	蜂谷 明子	蜂谷医院医師
	本多 京子	本校卒業生
学 校 側	森岡 孝文	校長
	酒井 里美	事務部長
	高橋 廣和	教頭
	粥川 責也	教務主任
	渡瀬 佳吾	生徒指導主事
	林 正幹	進路指導主事
	石原 泰三	保健主事
	工藤 志栄	探究企画部長
	佐々木 俊哉	探究理数科部長
	後藤 和世	研修主任

### 5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度自己評価及び学校関係者評価について(以下各部より説明)

①教務部②生徒指導部③進路指導部④保健厚生部⑤探究企画部⑥探究理数科部⑦研修部

意見1: 中学3年生の1月進路希望調査で定員を大幅に上回る生徒が恵那高校を希望している。この要因のとして、今年度恵那高校がどのような学校であるかが誰の目にも明らかになったことであると考え。恵那高校の生徒がどのような思いをもって、どのような生活を送っているのか、それが進路実現に結びついていること、地域の方

々が恵那高校を応援していることが明らかになった。また、恵那高校の総合探究やSSHの取組みが地域の高等学校、中学校、小学校に波及してきている。

意見2：不審者訓練を行いました。もし本当に不審者が侵入した場合、恵那高校とどのように連携するのか考えていきたい。またヘルメット着用について、生徒会と連携して改善に取り組んでほしい。

⇒本校の防災マニュアルの見直しを進めている最中である。不審者対応についてもどのように対応していくのか検討中である。その中で近隣の学校との連携を検討する。

意見3：今回SSH第5期申請の説明を受けた。これが通らなくても計画したとおりに実施していくのか。

⇒申請が通らなくとも認定枠としてSSHは継続する。県教育委員会や同窓会の支援を受けながら、計画した事業は行っていく。

意見4：SSHの申請を通して、普通科と理数科の融合や授業改善など先生方の業務量は大変だと印象を持った。先生方の声掛けで励まされた生徒もいる。

一方、地域の方から恵那高校生の通学時のマナーについて話を聞くことがある。

先ほどMSリーダーズの話もあり、そのMSリーダーズを中心に何かできないか。

⇒本校のMSリーダーズは生徒会役員や生活委員が中心であり、活動は教員提案のものがほとんどである。今後はMSリーダーズの募集や活動については生徒の自主的なものにするよう検討する。

意見5：現在の恵那高校は外から見ているとよい状態にある。このような時こそ生徒に自覚や誇りを持たして、自主的な活動に結び付けてもらいたい。

意見6：前回の学校運営協議会で学校の取組をもっとPRしてもらいたいとお伝えした。ここ最近新聞等で恵那高校や生徒が取り上げられているのをよく目にする。このように取り上げられることが生徒の意欲に結びついている。

⇒積極的に報道機関等に情報提供している。保護者の方に学校の様子を見ていただく機会がまだ少なく、来年度の検討事項である。

意見7：1月の能登の震災で避難所になっていた学校に想定以上の避難者が来たという話を聞いた。この地域で震災等があった時には近隣の学校との連携が必要である。

今の高校生は思春期をコロナ禍の中で過ごしている。学校行事や部活動が制限され、生活経験が少ない状態で入学している。不登校傾向にある生徒の個別対応に埋没するのではなく、全体への支援も重要である。個別の原因をしっかりと分析しないと、不登校対策にはならない。

⇒不登校対策では個々の対応に追われた。全体への支援として、年度当初に仲間づくり支援を検討している。

意見8：大学等の入試制度が多様になっている。生徒が自分に合った大学学部等を選択するとか、自分に合った入試方法を早めに決定できると、より進路実現に結びつく。これも一つの探究ではある。

意見9：授業見学している中で、外部の方からの視点を校内で生徒が得られるのは大変良いことであり、探究活動がより重要になってきている。探究活動に外部の力を活用することの橋渡しはできる。

⇒よろしく願います。

意見10：現在の恵那高校の姿は100年の伝統、20年に及ぶSSHの成果である。

## (2) 学校の施設設備について

前回の学校運営協議会で意見をいただいたトイレについて、現在2か所改修工事を行っている。その他のトイレも今後予算請求していく。

## 6 会議のまとめ

- ・学校運営協議会での検討事項を着実に学校運営に生かしていく。
- ・現在のスクールポリシーが策定されて2年が経過した。SSH申請で検討したことを踏まえて来年度見直しをする。
- ・今年度100周年記念関連行事等で恵那高校の姿を外部に示せた。今後もしっかりと広報していく。